

点 檢 実 施 計 画 書

所在 地 ○○○○市○○○○町○○○○番地

事業所名 株式会社○○○○

代表者名 代表取締役 ○○ ○○

1. 点検実施体制

点検実施にあたり、あらかじめ下記の点検実施者を定め適正に実施される体制を整える。
(責任者職・氏名)

工場長 ○○ ○○	{	点検実施者（正）氏名 ○○ ○○
		点検実施者（副）氏名 ○○ ○○

2. 在庫管理の対象設備

点検する設備を下記に記載する。

● 地下タンク

No.	危険物の種類	容量 (ℓ)	備考
1	○○油	○○○○○ℓ	
2	○○油	○○○○○ℓ	

● 漏えい検知管

合計数 8 本

3. 点検方法

- ① 漏えい検知管に検知棒を挿入し、油分（黒いタール状の物質等）が付着していないか確認する。……週1回以上
- ② 在庫管理の方法は液面計又は検尺棒で1／100以上の精度により計測するとともに、油の出し入れの量を記録する。……週1回以上

4. 点検実施者への教育訓練

対象者	実施時期	内容
点検実施者	1回／年 実施者が変更した場合は、隨時行う。	<p>① 点検義務等に関する基本事項 点検実施計画書の意義、目的の理解 点検管理に関する法令の理解 点検管理の対象となる設備</p> <p>② 在庫管理の点検方法及び記入方法</p> <p>③ 漏えい検知管の点検方法及び記入方法</p> <p>④ 異常時の対応 異常の判断基準の理解 異常時対応手順の理解</p>

5. 異常時の対応

- ① 漏えいの疑いがある場合は、専門業者に連絡する。併せて、速やかに消防本部へ通報する。
- ② 漏えいが認められたときは、油の拡散を防止する措置を講ずるとともに、専門業者に連絡する。併せて、速やかに消防本部へ通報する。

業者名及び連絡先 株式会社○○○○ 電話○○○一○○○一○○○○

春日都市消防本部 緊急時は119番、代表738-3111

予防課直通 738-3117